



前回会議の振り返り及び コーディネーター配置・運用方法について

令和3年度第3回

医療的ケア児等コーディネーター配置・運用検討会議

前回会議の議論（業務内容）

【事務局の提案】

前回の提案

コーディネーターの業務は主に…

1 スクリーニング

・医療的ケア児等とその家族及び支援者からの相談を受け付け、その相談内容から適切なサービス・支援に繋ぐとともに、必要な助言を行う

2 地域づくりに向けた個別課題の抽出・共有及びモニタリング

・児とその家族の状態像や課題等を多職種の支援者間で抽出・共有する
・また、多職種の支援者間の連携、支援に係る課題等について、情報・意見交換する
・さらに、支援者と情報を共有し、医療的ケア児等の支援状況や課題をリアルタイムで把握する

3 行政との連携

・各市町村・各圏域に設置されている医療的ケア児等の支援に関する「協議の場」や「児とその家族との交流会」等を通じ、把握した医療的ケア児等の課題を関係機関と共有する



今回の提案

コーディネーターの業務は主に…

個別支援・地域支援の二本柱

1 個別支援（受ける・繋ぐ・支える）

・医療的ケア児等とその家族及び支援者からの相談を受け付け、その相談内容から適切なサービス・支援に繋ぐとともに、支援者に対して助言を行う（支援者への支援）
・医療的ケア児等とその家族及び支援者への継続的な支援を通して、状態像や支援等の状況を把握する（モニタリング）

2 地域支援

・個別支援を通じて抽出された課題等を、自立支援協議会等の医療的ケア児等の支援を協議する場で共有し、課題解決に向けた協議を行う

合意が得られた



前回会議の議論（相談受付方法）

【事務局の提案】

案①：ワンストップ対応

相談窓口を1、2カ所程度設置し、ワンストップで受け付け、その窓口から、地域に配置されたコーディネーターへ繋ぐ

→ 各種相談の振り分け作業が煩雑か

案②：共有・協議対応

地域に配置されたコーディネーターそれぞれが相談を受け付け、その内容をコーディネーター同士で共有し、対応方針等を協議する

→ 各種相談について、共有・協議する体制・場が必要になる

⇒ 「案②：共有・協議対応」がよいのではないか、との意見で一致した（窓口が分散化されるので、「窓口の明確化・広報」が必要との意見あり）。

⇒ 一方で、コーディネーターの中に、一定程度先導していくような旗振り役、推進役が必要ではないか、との意見もあった。

前回会議の議論（業務フロー）

【事務局の提案】

- 資料 2 別紙 1 のとおり、コーディネーターの業務フロー(案)を提案した

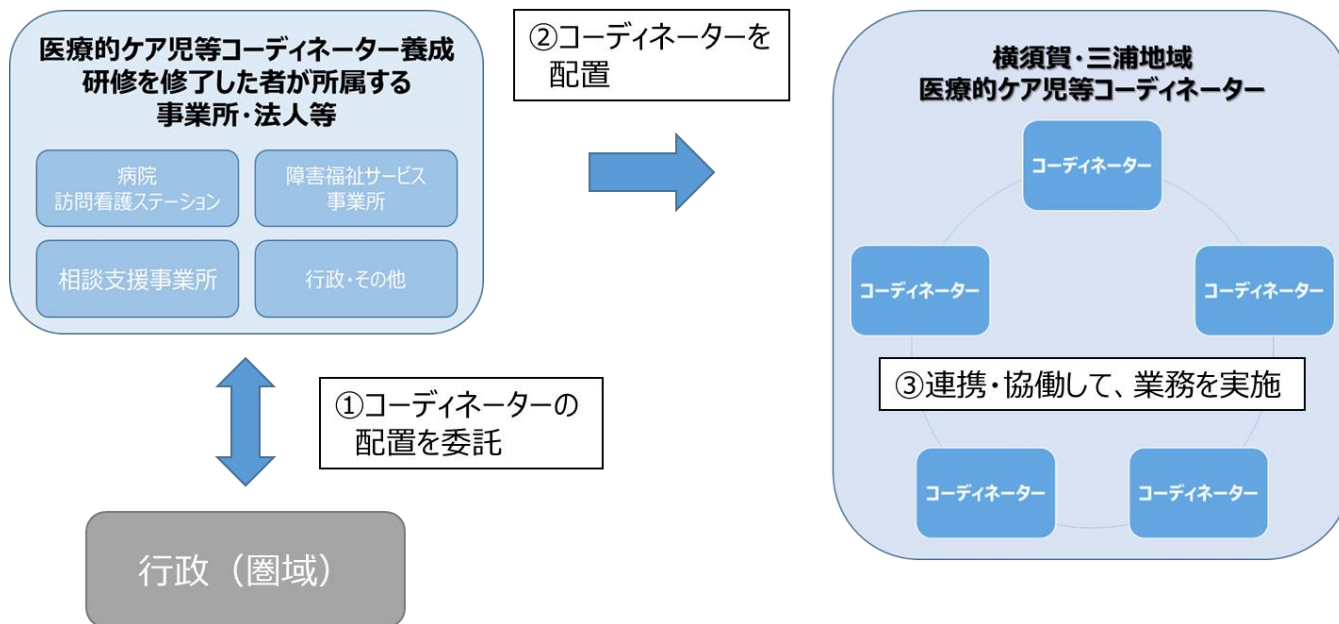
⇒ 支援者とコーディネーターが、側方的、継続的に活動することがわかるように、修正してはどうか



資料 2 別紙 2 のとおり修正

前回会議の議論（配置・運用）

【事務局の提案】



- コーディネーターの配置数について、この圏域においてどのくらい必要なの不明確
→ 対象人数から予測することは難しい
養成されたすべてのコーディネーターが本事業に参画できるわけではない
人数は明確に決めないが、複数人を想定する

2 今年度の到達点の確認について

- 令和4年度に運用試運転開始を目指すことを前提とし・・・

① コーディネーターの役割、業務内容を取り決める

第1、2回会議において議論の上、一定の合意が得られた

② コーディネーターの配置・運用方法を取り決める

第2回会議において、相談受付体制や配置・運用方法について議論

→ 事務局案をスライド10～13に記載

※R5以降の事業実施に係る費用負担等については、今後、各市町と調整を図りたい

3 各検討会議の実施内容について

■ 第1回検討会議（7月2日）



- ・ 昨年度の実施内容を共有
- ・ 事務局から提示した、コーディネーター役割・業務内容について議論した

■ 第2回検討会議（8月26日）

- ・ 第1回検討会議での議論を整理
- ・ コーディネーターの配置・運用方法について議論した

■ 第3回検討会議（12月23日 ← 本日）

- ・ これまでの議論を整理
- ・ コーディネーターの配置・運用方法について議論の上、意見のすり合わせ
- ・ 来年度の取組みについて確認
（コーディネーター配置・運用試運転(R4)に向けた最終調整）
- ・ 総括

事業内容 年度	コーディネーター配置・運用検討会議	コーディネーター・支援者交流会	県コーディネーター連絡会
令和3年度	年3回開催 運用試運転に向け、コーディネーターの役割、業務内容及び運用方法を検討、策定	年1回開催予定 (R4.2月予定)	年1回開催予定
			
令和4年度 【試行運転開始】	コーディネーター配置・運用試運転開始		
			
令和5年度 【自走化】	横須賀・三浦地域において事業実施 ※必要な取組みについては、今後検討		



本日の検討課題

コーディネーターの配置・運用方法について

検討課題

【スライド3に記載】

「案②：共有・協議対応」がよいのではないか、との意見で一致した（窓口が分散化されるので、「窓口の明確化・広報」が必要との意見あり）。

⇒ 一方で、コーディネーターの中に、一定程度先導していくような旗振り役が必要ではないか、との意見もあった。

■ コーディネーターにおける旗振り役について

- それぞれで受けた相談は、コーディネーター同士で情報共有し、対応について協議する想定だが、これを調整する旗振り役は必要ではないか、という課題提起があった
- 役割や業務内容はある程度定めたものの、来年度初めて運用を開始するため、実際にどのような動きが出てくるか予測できない



そのため、軌道に乗るまでは、コーディネーターを引っ張っていくような存在が必要か

検討課題

■ コーディネーターにおける旗振り役について（案）

○ コーディネーター（旗振り役）の役割、業務

- ① これまで検討してきた役割、業務内容の中で、特に地域支援を担当する
 - ・ 個別支援等から抽出された課題の解消に向けて、行政等が主催する自立支援協議会や協議の場等に参加
（会議の内容等は、この他のコーディネーターに共有）

- ② それぞれのコーディネーターが受けた相談を共有し、対応を協議する場の旗振り
 - ・ 共有・協議する場の事務局を担う

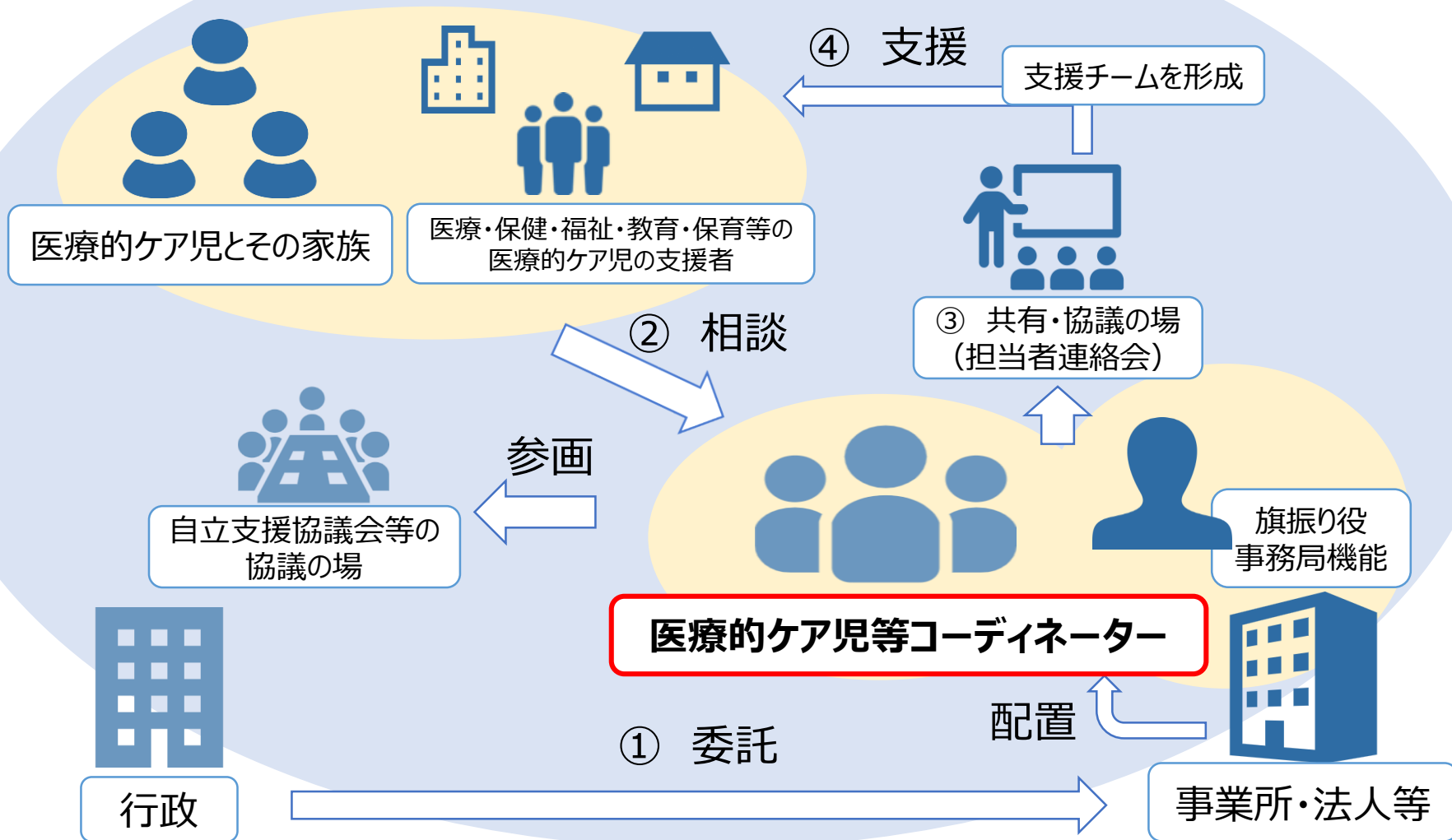
○ 誰に担って頂くべきか

- ・ この地域の中核的な事業所・法人等
- ・ これまでのコーディネーター配置・運用の検討経過を理解している方

4-3 コーディネーターの配置・運用について

【概要図】

横須賀・三浦障害保健福祉圏域



【概要】

- ① 行政から事業所・法人等へ、委託
(委託内容)
 - ・ 旗振り役コーディネーター、その他のコーディネーターの配置・運用
- ② 当事者、支援者等からの相談は、各コーディネーター、それぞれが受け付ける
- ③ 受けた相談内容を旗振り役コーディネーターに報告、旗振り役コーディネーターは、その他のコーディネーター等を招集し、相談を共有し、対応を協議する場（担当者連絡会）を開催
- ④ ③のもと、ケース毎の支援チームの形成を促進しながら、当事者及び支援者に対して支援

(旗振り役コーディネーター)

→ 担当者連絡会の運営や自立支援協議会等の協議の場への参画が、主な役割となる